

2025年9月17日

令和7年度「認知症介護対応力向上研修

「認知症介護の基礎知識～クスリに頼らない BPSD 改善のポイント～」

川崎市社会福祉協議会総合研修センター

講師 株式会社さくらケア 稲田秀樹

アンケート自由記載欄抜粋

- ・困っていた事例が間違っていた対応があった為、これから実践に活かせると思った。
- ・自身の体験談を交えて話をして頂いたのでとても分かりやすく伝わった。
- ・事例に沿っての進行だったので、理解しやすかったです。
- ・分野が少し違ったが、障害の分野でも当てはまることが多くて勉強になった。
- ・具体的なケースを通しての講義はとても分かりやすかった。
- ・認知症の方への接し方、傾聴など BPSD を緩和する貴重なお話をたくさん聞いた。
- ・プラスのかかわり方、とても参考になりました。
- ・事例にあった成功例は自分の施設でも行えるようなものと思えた。
- ・BPSD は人により違う、また対応方法も違う、広く深く学ぶことができた。
- ・余談にあたることが一番聞きたかった事だった。
- ・事例を通して話して頂けるので理解できる。
- ・薬のことでここまでお話しされる方には初めてお会いしました。
- ・BPSD の背景を推測することが大事なことが分かった。
- ・BPSD がおきる理由と背景の整理の方法を知ることができた。
- ・A さんの思い出のファイルを作っ て見ながら話を聞いた、何回も。しかし、本当に辛い話を聞いていなかった。もっと深い関りが出来たはずと言われた事に感動しました。
- ・気持ちが不安な方によりそえる介護のやり方が聞けたので職場で使っていきたい。
- ・一人一人の利用者様の理由と背景を推測して関わって行けたらと思います。
- ・認知症の人のケースでは、日々悩むことが多く家族や支援者にもぜひ共有していきたい。
- ・帰宅行動が抑制できない方に対して、スタッフが足りないという理由でお客様の気持ちを聞かずにこちらの都合ばかり押し付けていた。明日から時間を見つけて話してみようと思った。
- ・今一度、職場内で共有しカンファレンス前に資料の表を用いてケア方法を話し合いたい。
- ・とても分かり易く実体験に基づいており大変有意義な時間でした。